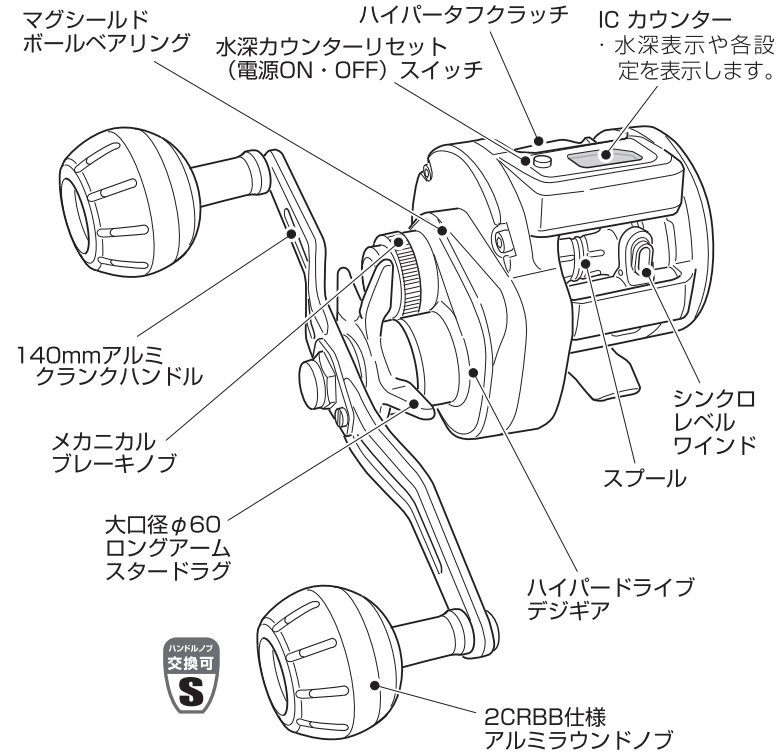


●各部の名称と操作方法

この度は、SALTIGA IC シリーズ をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、基本性能が長く続くことを目指し、全ての基本性能の水準を大幅に高めた設計思想「HYPERDRIVE DESIGN」を採用しています。このリールを正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。



DAIWA

**HYPERDRIVE
DESIGN**

SALTIGA IC

100H-DH/HL-DH,300-DH/L-DH

取扱説明書

●安全上の注意



- ①糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて釣りをしないでください。指をはさまれて、怪我をする恐れがあります。
- ②糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- ③幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながる恐れがあります。
- ④キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、怪我をする恐れがあります。
- ⑤ハンドルとボディの間に指をはさまないように注意してください。指をはさまれて怪我をする恐れがあります。
- ⑥糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。ヤケドや、指をはさんで怪我の原因になる恐れがあります。

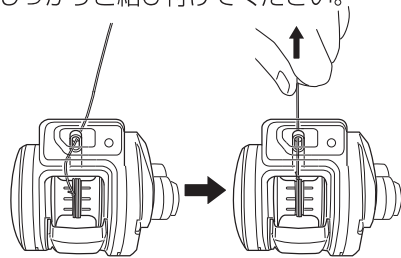
●ご使用上の注意



- ①根掛かりした時は、無理に竿をおおらず糸を手にとって切るようにしてください。竿をおおると、竿折れの原因になります。(その際は、手袋やタオルで手を保護してください。)
- ②リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をする恐れがあります。
- ③ドラッグを長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなり、ヤケドをする恐れがあります。
- ④ドラッグ付きリールで遠投する際には、ドラッグが滑ると糸で指を傷つける恐れがあります。必ずドラッグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- ⑤リールを長時間収納するときは、水分を完全に切り、なるべく通気性のよい場所に保管してください。
- ⑥ドラッグ付きリールは、釣行後にドラッグを緩めて保管してください。ドラッグをキツく締めたまま保管すると、ドラッグワッシャーが潰れ、ドラッグ性能が低下する事があります。
- ⑦使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
- ⑧落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ⑨本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。

●スプールに PE ラインを巻きはじめ時の結び方

- PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するのを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。
- また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。

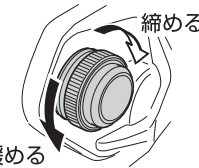


●糸巻き時の注意

軽量スプールを採用しているため、必要以上の高いラインテンションで糸を巻くと、スプールが変形する場合がございます。ラインテンションを掛けすぎないようにご注意ください。PEラインを巻く際は、500g程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。下巻きにナイロンラインをご使用される場合は、6号以上の太さをご使用ください。下巻きナイロンラインを巻く際は、ラインテンションを掛けすぎないように300gのラインテンションでの糸巻きをお薦めします。

●メカニカルブレーキノブ操作方法

メカニカルブレーキは、クラッチOFFでルアー(ジグ)を落下させる際、スプール回転にブレーキをかける機能です。
メカニカルブレーキノブは、左右ハンドルいずれも時計回りで締め、反時計回りで緩めます。クラッチOFFにしてルアー(ジグ)を水中へ投入した際、糸ふけが出すぎない程度に調整してください。また、潮流の影響(二枚潮)やルアー(ジグ)を交換したときにも、同様に調整してください。また、アンダーハンドキャストで軽くキャストする際には、スプールがガタつかない範囲でメカニカルブレーキを調整してください。



⚠️ **注意** メカニカルブレーキの締めすぎ、緩めすぎにご注意ください。
メカニカルブレーキノブを締め込みすぎた状態で使用すると、スプールシャフトが焼きつきを起こし、異音が発生する場合があります。また、ブレーキ力を強くしすぎると、構造上ハンドル回転に抵抗が生じます。

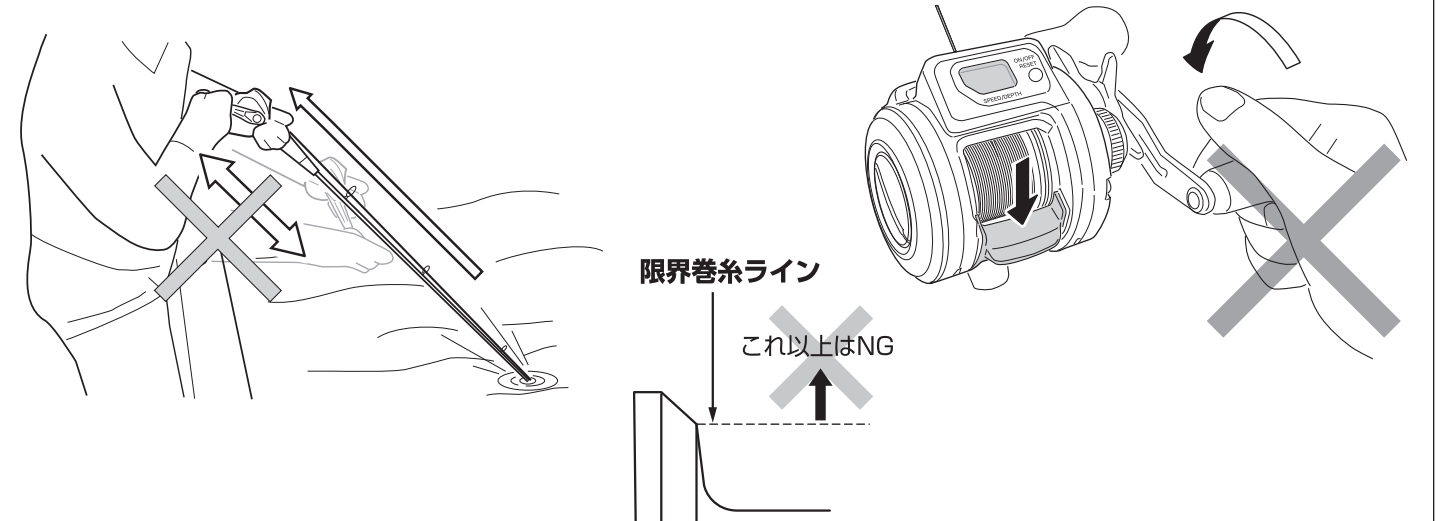
メカニカルブレーキノブを緩めすぎた状態で使用すると、スプールのガタつきや振れが大きくなることで、スプールとフレームの隙間ヘラインが入り込んだり、落下スピードのダウンやノイズ発生恐れがあります。更にはスタードラッグとの干渉や、メカニカルブレーキノブの脱落・パーツ紛失の恐れがあります。ご注意ください。

●キャストिंगでのご使用は大変危険です！

- ①本製品は、オートリターンクラッチ機構搭載のため、勢いよくキャストを行うと、キャストの衝撃でハンドルが回転し、クラッチが返ってしまいます。ルアー(ジグ)が飛んでいかずに、周囲の人やご自身にルアーが当たるなど、大変危険です。最悪の場合、ギアや内部パーツの破損に繋がる恐れがあります。絶対にお避けください。

あくまでアンダーハンドキャストで、安全に注意してキャストする程度のご使用を前提にしてください。

- ※本製品は、キャストングブレーキ機能を搭載しておりません。
※本製品は、ロングハンドル搭載のためキャスト時などのクラッチ返りが起こりやすくなりますので、ご注意ください。
- ②クラッチレバーを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。
※クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチおよびストッパー破損につながります。
 - ③オーバーヘッドでのキャストはしないでください。
※クラッチが戻り、糸が切れる恐れがあります。
 - ④スプールの着脱は内部構造が複雑なためおやめください。
 - ⑤PEライン1号以下の細糸使用時において、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすきまに糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
 - ⑥糸巻終わり径は下図の通り最大でもスプール外周面取部下端までとすることをお奨めします。巻糸量が多すぎると、ラインのトラブルや、道糸入力時にエラーが発生する可能性があります。
 - ⑦フロントカバーやフレームに糸が当たると、傷つく場合があります。糸を巻く際は、糸がリール本体に触れないようにご注意ください。
 - ⑧最大ドラッグ力の範囲内での使用をおすすめします。
過度なドラッグを掛けた状態での使用は、このリールの適正使用条件を強度的に大きく超えますのでおやめください。
 - ⑨ロッドの弾性を使用しないストレートボンピングは、ギアへの負担が大きく回転性能低下の原因となります。ご注意ください。
 - ⑩標準巻糸量は、UVFソルティガデュラセンサー8+Si²+リーダー5m程度を目安としています。巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。



◆マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の侵入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。本リールでは、ソルト使用時に一番塩ガミやすかったピニオン部の 防水、耐久性を飛躍的に向上させる為、マグシールドボールベアリングを搭載しました。

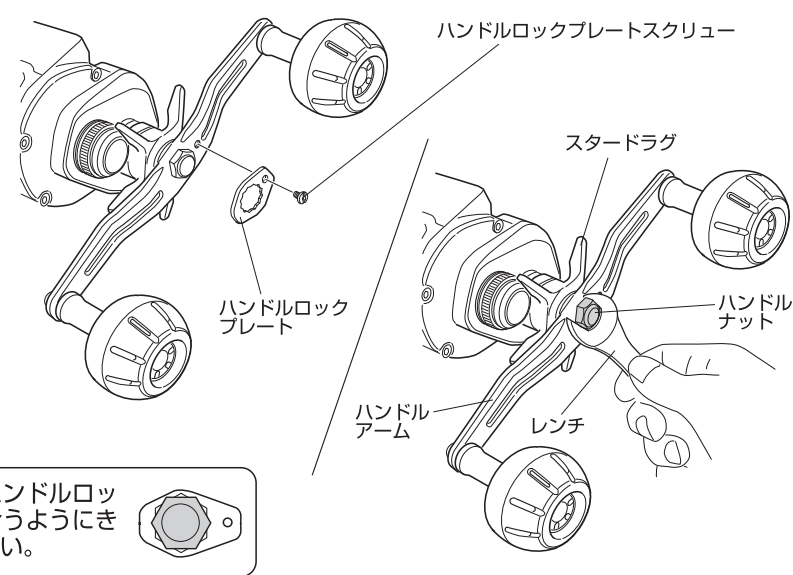
注意 ・マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
・分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

注意 マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体（マグオイル）の壁により維持されています。
・マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。
（表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。）
・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なう恐れがあります。

●ハンドル交換方法（※図はアルミラウンドノブ、右ハンドルモデルです。）

※ハンドルナットは左ハンドルの場合、逆ネジとなっておりますので特にご注意ください。

- 市販のマイナスドライバーで反時計回りにハンドルロックプレートスクリューを緩め、ハンドルロックプレートを外します。
- スタードラッグを締め込み、市販のレンチを使い、反時計回りでハンドルナットを緩めて外します。
（※注意 左ハンドルは時計回りでハンドルナットを緩めます）
- ハンドルアームを外し、ハンドル交換を行ってください。レンチを使い、ハンドルナットを取り付けます。
強めに時計回りに回して締め込んでください。
（※注意 左ハンドルは反時計回りに回して締め込んでください）
- ハンドルロックプレートを取り付け、市販のマイナスドライバーでハンドルロックプレートスクリューを時計回りで締めてください。



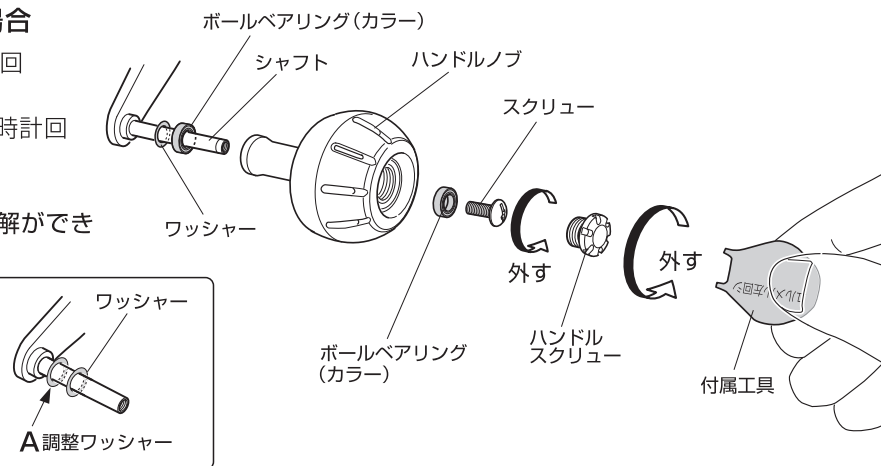
※ハンドルナットはハンドルロックプレートの溝に合うようにきつめに締めてください。

●ハンドルノブ取付方法（※Sサイズノブと互換性があります。）

■アルミラウンドノブ（100H-DH/HL-DH,300-DH/L-DH）の場合

- 付属の工具を使用し、ハンドルスクリューを反時計回りに回し、外します。
- 市販のプラスドライバーを使用し、スクリューを反時計回りに回し、外します。
※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。
※アルミラウンドノブは、シャフト部とノブ部分の分解ができませんのでご注意ください。

※ハンドルノブのガタが大きい場合は、ダイワ純正 RCS オプションハンドルノブに付属しているワッシャーを図Aの位置に追加してください。
（追加する場合、ワッシャーを入れすぎるとハンドルノブが回転しなくなるのでご注意ください。）



●展開図&部品表

『パーツ情報 確認方法』

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム 検索

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はご購入の求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】 9:00～17:00
（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢 3-14-16

●お手入れ方法

- 本製品は、精密部品で構成されています。下記の注意事項を守ってお取り扱いください。
- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止する為にも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。
- 本製品を未永くお使い頂くためにも、年に1度は（株）スポーツライフプラネットへオーバーホールに出すことをお勧めします。（有料）

<順序>

- ①使用後は、なるべく早く水洗いしてください。摺動部や回転部に残った塩分や汚れを洗い流すためです。
※特に海水域で使用したまま乾燥すると塩が結晶化してしまい、水洗いの効果が低下します。
・様々な角度から水を掛け流してください。内部に残った海水や塩の結晶を溶かして洗い流すイメージです。
・クラッチは、オン⇄オフを繰り返しながらよく水を掛け流してください。ハンドルやハンドルノブも回しながら水を掛け流してください。
※温水による洗浄やリールを水没させての洗浄、洗剤等での洗浄は絶対におやめください。適材適所で使い分けしているオイルやグリスを流出させてしまいます。結果的にボールベアリング、ギアなど重要回転部品の耐久性を損ないますので絶対に止めてください。
・ボディの隙間など、細かな部分が汚れている場合は、綿棒などで汚れを取り除いてください。

②洗浄後は、よく水を切って乾燥させてください。

- ・よく水を切るために、**ハンドルやクラッチ、スプール等の作動部を動かしながら行うと効果的**です。
- ・スプールやフレームなどの水分は、タオルなどで拭き取ってください。海水が十分に洗い流されていないと拭きこぼしがあると、乾いて塩分が結晶化してしまい、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。
- ・**ドラッグを緩め、水抜き穴を下にして陰干ししてください。**また、直射日光を避けてなるべく通風性の良い場所で乾燥させてください。
- ※濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。
- ・内部の水分が完全に乾燥するまでは5日ほどかかります。**乾燥中は、出来れば1日1回程度、ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください。**
※溶剤（シンナーなど）では手入れしないでください。
- ③**以下の注油規定に則り、必ず注油してください。**
- ④保管の際は、ドラッグを緩めてください。

■注油規定 **!** ※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

<注意点>

- ①使用後はリールの汚れ、ゴミをきれいに拭き取ってください。
- ②溶剤（シンナーなど）では手入れしないでください。
- ③ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なためおやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。
- ④IC カウンター周辺への注油はしないでください。電装部の故障につながります。

【スプール部ボールベアリングへの注油（オイル）】

- ①メカニカルブレーキノブを取り外し、内側に見えるボールベアリングに注油します。
（極少量、スプレーオイルの場合一瞬吹き付ける程度で結構です。）
※つけすぎは逆にボールベアリングの本来の回転性能を損なう恐れがあります。
※上記の方法で注油いただくと、ピニオンボールベアリング（マグシールド）への直接注油（注意書き禁止事項）には該当しませんのでご安心ください。

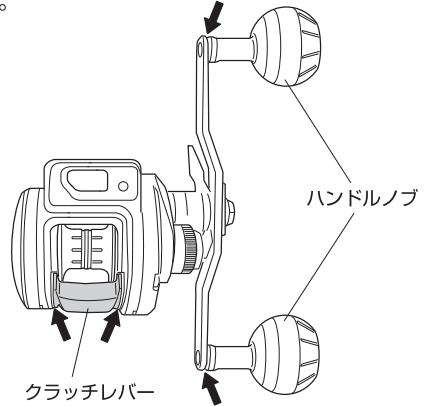
【ウォームシャフト部への注油（グリス）】

- ①図の様にウォームシャフト部へ注油します。
※グリスがIC カウンターへ飛散しないようご注意ください。
※長時間ご使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてからウエスで拭き取り、その後、グリスを注油してください。



【ハンドルノブ、クラッチへの注油（グリス）】

- ①図の様にハンドルノブへ注油します。
※グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。
- ②図の様にクラッチと本体との摺動部にも注油してください。



※水抜き穴への注油は絶対におやめください。
※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。
※落下などのショックを与える事で異音の発生や、スプールフリー性能が変わることがあります。お取扱いは十分にご注意ください。

●取扱い・保管上の注意！

- ・保管の際は必ず竿から取り外してください。
- ・リールを長時間（数ヶ月以上）ご使用にならない場合は、リール作動部を時々動かすことをおすすめします。
- ・ジグ（ルアー）などをリールへ引っ掛けることはおやめください。リールを傷つけたり、ラインが傷ついたり、場合によっては傷から腐食が起こる場合があります。
- ・海水中に長時間放置しないでください。

- ・根掛かりしたときに、スプールを指で押さえてラインを切ることはおやめください。スプール変形の原因になります。
- ※船べりのロッドホルダー穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当たる場合は、ロッドホルダー穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。